



此頃の實話

つばな

問「からだが黒く小さくて、この頃地面の上を、あつちへ行たりこつちへ行たりして、せつせとお仕事をしてゐるもの何？」

答「蟻。」「ばつた。」

さうね、ばつたも地面の上を歩いてゐるけれど、ばつたはつかまへようとするとピョンと跳ぶでしよ。蟻はばつたのようにはとべません。今日は蟻の三郎ちゃんのお話をしましょう。

三郎ちゃん蟻は生れたての赤ちゃんの時分は白い小さい卵の中にゐました。そして一番地面の下の方のお室に入れられました。でもお天氣の良い日には、日あたりのいゝ處へ抱いて行かれました。

お母様蟻はなかなか外へ出る事が出来ないので抱いて行て下さるのは、働蟻といふ小母さん達でした。小母さん達の働蟻はお父様やお母様にくらべると身體が小さいのですが、よい赤ちゃん達を可愛がつて、食物から、身體の世話お室のお掃除もして下さいます。

その内三郎ちゃん蟻は卵から出て小さい白い蟲になりました。そして蠶のように繭といふ小さいふくろを自分で作つてその中に入つてしまひました。働蟻のお母さんは、繭には入つた三郎ちゃん蟻を二階の方のお室にうつしました。そこで三郎ちゃんはだん／＼身體の形が變て小母さん達のよう

な頭と胸とお腹のある、そして六つの足がついてゐる蟻の身體になりました。三郎ちやんが繭から

出られないで困つてゐたら小母さんが繭を切つて出るのが手傳つて下さいました。出たばかりの時は足がふら／＼してな／＼歩けません。よろよろしてゐると小母さん蟻は羽根をなでたり身體をさすつたりしてよく世話をして下さい其の上おいしい食物を持つて来て下さいます。かうなると三郎蟻はまた外のお室につれて行かれます。蟻のお室にはお室がいくつもあります。卵のお室、赤ちやんのお室食べ物のお室、そして其のお室のお掃除、食べ物を持つて来ること、赤ちやんの世話をすること、お室が足りなくなつた時、新しいお室を作ること、みんな小母さんの働蟻がするのです。

この小母さんの働蟻は、小さい身體で羽根がありません、お母さんは三郎さんや他の赤ちやんの生れる時分は立派な羽根をもつてゐましたが、少

したつとその羽根がなくなつてゐました。お父さんも右と左に二枚づゝ羽根を持つてゐます。

或日三郎ちやん蟻のお室に大變な事が起りました。といふのは人間といふ力もちが来て、三郎ちやん達のお室を破つたのです。大勢の小母さん達働蟻は卵を持つたり繭を持つたり食べ物袋を持つたり、また三郎さんのようにまだ蟻になりたてで身體の丈夫でないのを抱いたりして大急ぎで逃げだしました。それは／＼忙しさうに歩いてどんどん逃げだしました。もう人間が來ない大丈夫な處へすつかり運んでしまつてから、今度は新らしいお室を作る處をさがしに出かけました。そして毎日日土を掘つていゝお室が出來ると又其處へ皆達を伴れて行きます。

問「皆さんは、蟻のお引越しを見た事がありますか」

答「いゝえ」

今度幼稚園のお庭でお引越があつたら見ましようね。働蟻はまた其の外にあぶら蟲を飼つたり、草を植えたりします。皆さんがお菓子や片やお砂糖を土の上に置いとくと、いつのまにかまつ黒に蟻がついてゐる事があるでしょう。あれはみんな働蟻が食べ物室にためる爲にとりに來るのです。

さあ、みなでお庭の蟻に、ごちさうをやりに行きませう。(粉薬のように包んだ小さい砂糖の紙包をわたし庭に蟻をさがしに行く。)

附記

此頃(五月末)のお天氣のよい日に、羽根のある身體の大きい雌蟻を見つけたら、口の大きい五寸位のガラス瓶又は上下ガラスで、わくを石膏か粘土で作て二室に仕切り、一所だけに二室に通じる固所を作り、観察箱に前の雌蟻と、羽根のない同種の働蟻を入れ、土を入れて、時々食物(砂糖や小蟲)や水分を入れて、土を乾かぬよ

うにして置くと、卵や繭、蟻の成長や養育される状態をよく観察する事が出來ます。